

高性能 複層塗材 主材 アクリルタイル

アレスパワータイル & アレス水性タイルトップ

新築／改修工事にオールマイティな
アクリルタイル！

高性能5大特長！

1
シーラーレス
※条件により
シーラーが
必要です。

2
優れた厚膜性
パワータイルと
水性トップで
2回塗りシステムも
可能です。

3
カラータイル
中途り(主材)も
調色可能。

4
優れた付着力
力強く
下地・旧塗膜を
掴みます。

5
透湿性
湿気を放出し、
結露を緩和します。



品質が証明されました！

[JIS A6909 建築用仕上塗材 複層塗材E 試験結果]

項目	塗料の組み合わせ		品質
	主材:アレススタイルラフ 上塗:コスモアクリル	主材:アレスパワータイル 上塗:アレス水性タイルトップ	
低温安定性	○	○	塊がなく、組成成分の分離・凝集がないこと
初期乾燥による ひび割れ抵抗性	○	○	ひび割れがないこと
付着強さ N/mm ²	標準状態	1.0	0.7以上
	浸水後	0.9	1.0
温冷繰返し	○	○	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと
透水性 B法 ml	0.2	0.3	0.5以下
耐衝撃性	○	○	ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと
耐候性 A法	○	○	ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること

下塗材はエコカチオンシーラーを使用



関西ペイント

アレスパワータイル & アレス水性タイルトップ

特長

1. シーラーとフィラーの性能を兼備していますから、塗装工程が短縮されます。
2. パワータイル水性トップを上塗りに用いることで、省工程の塗装仕様を組み合わせることができます。
3. 多孔質ローラー塗装仕上げ、リシンガン及びタイルガンによる吹付け塗装仕上げが可能です。
4. 上塗りの仕上げに合わせて調色可能です。

容 量：アレスパワータイル 20kg (ベース塗り16~20㎡、パターン塗り15~25㎡/缶)
 アレス水性タイルトップ 16kg (ローラー53㎡/缶)
 エコカチオンシーラー 15kg (ローラー115㎡、エアレス88㎡/缶)

複層塗材E塗装仕様

工 程	塗料と処置	塗装回数	標準所要量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	塗装方法	希釈率(重量%)	
1	素地調整	エプロレイトクス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエス等を使用して除去し、乾燥した清潔な面とする。(pH10以下、含水率8%以下とする。)					
2	下塗り	エコカチオンシーラー	1	0.13	2時間以上7日以内	刷毛、ローラー	0
				0.17	2時間以上7日以内	エアレス	
3	中塗り(ベース塗り)	アレスパワータイル	1	1.0~1.2	16時間以上7日以内	リシンガン5.5mm口径	5~10
4	中塗り(パターン塗り)	アレスパワータイル	1	0.8~1.3	16時間以上7日以内	タイルガン4~6mm口径	0~2
5	上塗り	アレス水性タイルトップ	1	0.3	4時間以上7日以内	ローラー	0~5
		コスモアクリル	2	0.13	2時間以上7日以内	ローラー	3~12
		アレスアクアグロス	2	0.15	2時間以上7日以内	ローラー	3~10

省工程吹き付け仕様

工 程	塗料と処置	塗装回数	標準所要量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	塗装方法	希釈率(重量%)	
1	素地調整	エプロレイトクス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエス等を使用して除去し、乾燥した清潔な面とする。(pH10以下、含水率8%以下とする。) 建築用下地調整材C-1で全面下地調整する。					
2	中塗り(ベース塗り)	アレスパワータイル	1	1.0~1.2	16時間以上7日以内	リシンガン5.5mm口径	5~10
3	中塗り(パターン塗り)	アレスパワータイル	1	0.8~1.3	16時間以上7日以内	タイルガン4~6mm口径	0~2
4	上塗り	アレス水性タイルトップ	1	0.3	4時間以上7日以内	ローラー	0~5
		コスモアクリル	2	0.13	2時間以上7日以内	ローラー	3~12
		アレスアクアグロス	2	0.15	2時間以上7日以内	ローラー	3~10

注意/吸い込みが多い場合、形状によって隠蔽しにくい場合は上塗りは2回塗りしてください。
建築用下地調整材で全面下地調整されていない場合は下塗りにエコカチオンシーラーを塗装してください。

省工程ローラー仕様

工 程	塗料と処置	塗装回数	標準所要量(kg/㎡/回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	塗装方法	希釈率(重量%)	
1	素地調整	エプロレイトクス・ゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエス等を使用して除去し、乾燥した清潔な面とする。(pH10以下、含水率8%以下とする。) 建築用下地調整材C-1で全面下地調整する。					
2	中塗り	アレスパワータイル	1	0.8~1.3	16時間以上7日以内	多孔質ローラー	3~7
3	上塗り	アレス水性タイルトップ	1	0.3	4時間以上7日以内	ローラー	0~5
		コスモアクリル	2	0.13	2時間以上7日以内	ローラー	3~12
		アレスアクアグロス	2	0.15	2時間以上7日以内	ローラー	3~10

注意/吸い込みが多い場合、形状によって隠蔽しにくい場合は上塗りは2回塗りしてください。
建築用下地調整材で全面下地調整されていない場合は下塗りにエコカチオンシーラーを塗装してください。

- ①希釈率は、環境温度によって変化するので、模様を確認しながら粘度を調整してください。
- ②模様は、希釈率・ガン口径・吹付け圧力により変化するので、事前に所定の模様ができることを確認して吹いてください。
- ③新設で、**建築用下地調整材で全面下地調整されていない場合は下塗りにエコカチオンシーラーを塗装してください。**

施工上の注意事項

- 1) 気温5℃以下、湿度80%以上、また強風、降雨、降雪が予想される場合は塗装を中止してください。
- 2) 塗り替えの場合、旧塗膜の劣化が著しいときは、サンダー・ワイヤーブラシ等で脆弱な塗膜を除去し高圧水洗を行ったのち、1日乾燥後、塗装してください。
- 3) 使用前に塗料を均一にかき混ぜてください。特に濃色系塗料は長く放置されると容器内で分離(顔料沈降)することがありますので、十分攪拌の上、ご使用ください。
- 4) 押出成型板、GRC板などの緻密な素材には、溶剤系エポキシシーラー(マルチタイルコンクリートプライマーEPO、浸透形シーラー、浸透形Mシーラー)をご使用ください。
- 5) 軽重モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業サイディングおよび発泡ウレタンなどを使用した壁断熱工法などの「高断熱型外壁」を塗り替える際、旧塗膜が溶剤系アクリルトップである場合は蓄熱や水の影響、塗装後の環境などいくつかの条件が重なることで、塗膜のふくれが生じることがあります。旧塗膜をラッカーシンナー拭きして簡単に塗膜が再溶解する場合は、下塗りに「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」を塗装してください。
- 6) 刷毛塗りで補修塗りを行う際、ローラー塗りとの仕上がり肌や希釈率の違いによる色差が生じることがありますのでご注意ください。
- 7) 合成皮革、ゴムパッキン、塩化ビニル製品などと塗膜の接触は避けてください。可塑剤のブリードによる粘着が起こる場合があります。
- 8) シーリング材の上は塗膜のワレや汚れが生じることがありますので塗装は避けてください。やむなく塗装する場合は、事前に試験塗装を行い付着性、粘着性が問題ないことを確認の上、施工を進めてください。その際の下塗りには「シープ」または「マルチタイルコンクリートプライマーEPO」を使用することをお勧めします。
- 9) 上塗りにコスモアクリル、アクアグロスを塗装する場合は2回塗りを行ってください。
- 10) 塗装用具などの洗浄の際、上水で落ちにくい場合はラッカーシンナーを用いてください。
- 11) 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合がありますので、使用塗料の控えは必ずとっておき、同一塗料、同一ロット、同一塗装方法で補修塗装してください。

ご使用上の注意事項

予 防 策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護めがね・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・eri巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 火気避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。
- 火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。
- 裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

対 応

目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。

下記の注意事項を守ってください。詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

皮膚に付着した場合は：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。

吸 入 し た 場 合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。

飲 み 込 ん だ 場 合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。

● 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取る。

● 火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保 管

● 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。

● 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。

● 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

廃 棄

● 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

施工後の安全

● 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施工主に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでベンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。